

Uターン就活体験談



T.M. さん

2020年3月卒業、兵庫県からUターン（男性）

就職先：製造業、営業職

Q1. Uターン就職を考えたきっかけや、Uターン就職の経緯（Uターン就職を決めた時期など）を教えてください。

将来的に地元に戻りたいと考えていたが、他県で就職するなら、いずれ転職活動を行わなければいけないと考えた。Uターン就職を意識したのは大学3年の秋（9～10月頃）、本格的にUターン就職に絞り出したのは大学3年の冬（12月～1月）頃で、Uターン就職としての初めての就職活動は、2月に大阪で行われた香川県内企業が集まる合同企業説明会だった。

Q2. 就活で大変だったことや悩んだことは何ですか？Uターン就活だから大変だったこともあれば教えてください。また、それらをどのように乗り越えましたか。

履歴書やESの作成に苦戦した。元々文章を書くのが得意ではなく、文章がまとまらないうえ、決められた字数の中で自分のPRや、志望理由をまとめるのが大変だった。また、自己PRでは、自分自身の長所を明確にする必要があったが、普段自分の長所や短所について考える機会はほとんどなかったため、何から始めればいいのか分からなかった。そして、就職活動で面接を重ねていく内に、当初自分が思っていた長所や長所が活かされた経験談などに少しずつズレを感じるようになったため、就職活動中に修正を行うことも大変だった。乗り越えた方法は、香川県大阪事務所のコーディネーターの方に、相談し添削についてもアドバイスを貰った。信頼できる人に相談しアドバイスを貰うことが大切だと思う。

Q3. 「香川県大阪事務所」や「ワークサポートかがわ」をどのように利用しましたか。また、利用してみてどうでしたか。

大阪事務所をメインに履歴書の添削や企業探しを主にサポートしていただいた。関西圏の大学では、就職した実績のある会社しか情報がないため、大阪事務所を通じて企業の情報収集を行えたことがよかった。

Q4. 標準的な一日の仕事の流れについて教えてください。

朝はメールのチェック。そこからは顧客からの問い合わせへの対応や、社内に情報連携、見積作成などを行う。コロナウイルスの影響で、営業としてまだ外へ出ての活動はできていないが、営業職として、過去に御見積を提出した内容の進捗状況の確認、今後弊社で対応できるような引合いについての情報収集や、受注した案件の納期調整やその他問い合わせ内容の回答などを通して取引先との関係を構築している。

Q5. 仕事のやりがいを感じる時はどんな時ですか？

できなかったことができるようになったとき。

例) 前はできなかった見積作成ができるようになったなど。

Q6. 実際に社会人として香川県にUターンしてみたの感想はいかがですか。

県外では、家賃や生活費など出費がかかるが地元ではそのような出費がかからないため、Uターン就職を行ってよかったと思う。今はコロナウイルスの影響で外出や他県への移動が規制されているが、地元就職で蓄えたお金でまた関西に遊びに行くことを楽しみにしている。

Q6. Uターン就職を考えている後輩へのアドバイスを教えてください。

就職活動を進めていく内に、色々と悩みや不安が出てくると思うが、ぶれずに最後まで頑張りたいと思う。県外で就職したら「うどん」が恋しくなるけん、是非Uターン就職をオススメします！！